

# 教員数及び学位保有状況

(食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻)

職 位	学 位	29歳 以下	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上	合 計
教 授 2 人	博 士	人	人	人	1	人	人	人	1
	修 士					1			1
	学 士								0
	短期大学士								0
	その他								0
准教授 4 人	博 士		1	1	1				3
	修 士		1						1
	学 士								0
	短期大学士								0
	その他								0
講 師 4 人	博 士		1						1
	修 士		1	1	1				3
	学 士								0
	短期大学士								0
	その他								0
助 教 0 人	博 士								0
	修 士								0
	学 士								0
	短期大学士								0
	その他								0
助 手 0 人	博 士								0
	修 士								0
	学 士								0
	短期大学士								0
	その他								0
合 計 10 人	博 士	0	2	1	2	0	0	0	5
	修 士	0	2	1	1	1	0	0	5
	学 士	0	0	0	0	0	0	0	0
	短期大学士	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0

※年齢は、令和5年5月1日現在における満年齢

教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・教授		ツガナ	タケウチ ヒロユキ
役職	学科長・専攻科長・学長補佐室長		氏名	竹内 弘幸
経歴	学歴			
	静岡大学 農学部農芸化学科 卒業（農学士） 静岡大学大学院 農学研究科 修了（農学修士） 博士（農学）			
	職歴			
		日清オイリオグループ株式会社 富山短期大学 食物栄養学科		
所属学会	日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学科、日本肥満学会、日本臨床栄養学会			
現在の社会活動	日本栄養改善学会 評議員・理事 日本栄養改善学会北陸支部 幹事 日本栄養・食糧学会 参事・代議員 全国栄養士養成施設協会 栄養士実力認定試験委員 富山県衛生研究所研究評価 外部評価委員 砺波市食育推進会議 会長			
専門分野	食品栄養学 脂質栄養学			
研究テーマ	脂肪酸の栄養 ホタルイカの健康機能			
職務上に関する資格・免許				
著書、論文等の名称（過去10年以内）			単著 共著	発行又は 発表の年月
発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称				
(著書)	1. 食品科学シリーズNEXT 食品加工・保蔵学 2. 食品機能性脂質の基礎と応用 3. 食品科学シリーズNEXT 食品学総論第4版 4. 食品科学シリーズNEXT 食品学各論第4版		共著 共著 共著 共著	2017.7 2018.5 2021.3 2021.3
(学術論文)	1. Effects of dietary trans fatty acids on fat accumulation and metabolic rate in rat. 2. Supplementation of 1% energy trans fatty acids has little effect on serum cholesterol levels in healthy young Japanese women 3. Lowering effect of firefly squid powder on triacylglycerol content and glucose-6-phosphate dehydrogenase activity in rat liver 4. Little effect of supplementation with 0.6% energy trans fatty acids on serum cholesterol levels in adult Japanese women (研究ノート) 5. Supplementation with trans fatty acid at 1% energy did not increase serum cholesterol irrespective of the obesity-related genotypes in healthy adult Japanese 6. Differential Effect of Fat Intake on Blood Pressure in Healthy Japanese Women with and without the Variant of Fat Mass and Obesity-Associated Gene 7. Relationship between Saturated Fatty Acid Intake and Blood Pressure in Healthy Japanese Women with the Fat Mass and Obesity-Associated Gene Variant		共著 共著 共著 共著 共著 共著 共著	2013.4 2013.6 2014.12 2015.10 2018.4 2022.1 印刷中
(その他)	1. 日本栄養改善学会 功労賞 2. 語り合おう！栄養学のこれからの（会長講演） 3. ホタルイカの健康機能性について（特集） 4. Industrial trans fatty Acid and serum cholesterol: The allowable dietary level 5. 新しい動脈硬化指標CAVIを用いた生活習慣病予防のための脂質摂取に関する研究（研究助成・代表） 6. テーラーメイド脂質栄養学の確立を目指した遺伝子多型と脂質摂取との相互作用の解明（研究助成・代表） 7. 体内吸収性マイクロプラスチックの健康リスク：食品成分との相互作用を含めた検討（研究助成・代表）		単 単 単 共著 共 共 共	2021.9 2019.9 2017.8 201.8 2013.4- 2016.3 2016.4- 2019.3 2019.4- 2024.3
			日本栄養改善学会 第66回日本栄養改善学会学術総会 JATAFF ジャーナル Journal of Lipids 科研費基盤研究 (C) 科研費基盤研究 (C) 科研費基盤研究 (C)	

### 教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・教授	フリガナ	オオタ ユミコ	
役職	副学科長	氏名	太田 裕美子	
経歴	学歴			
	佐伯栄養学校管理栄養士特例科卒業 人間総合科学大学大学院人間総合科学研究科心身健康科学専攻修士課程修了（心身健康科学）			
	職歴			
富山県教育職員(栄養教諭・学校栄養職員・県教委指導主事) 富山短期大学食物栄養学科				
所属学会	日本栄養改善学会・日本給食経営管理学会			
現在の社会活動	富山県食育推進会議委員 富山県アレルギー疾患医療連絡協議会委員			
専門分野	食育、栄養教育、給食管理、衛生管理			
研究テーマ	栄養教諭育成に関する指導、集団給食における栄養管理及び衛生管理			
職務上に関する資格・免許	栄養教諭（Ⅰ）、管理栄養士、栄養士			
	著書、論文等の名称（過去10年以内）	単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)	1. よくわかる栄養教諭－食育の基礎知識－第2版 2. 栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート	共 共	2016. 4 2021. 2	同文書院 学建書院
(学術論文)				
(その他)	<発表> 1. 丈夫な体をつくろうと努力する子どもとともに 2. 学校給食における衛生管理手法の周知と食中毒発生の減少との関連性の検証（1） 3. 学校給食における衛生管理手法の周知と食中毒発生の減少との関連性の検証（2） 4. 学校給食における衛生管理手法の周知と食中毒発生の減少との関連性の検証～調理場運営方式の相違から 5. 学校給食における衛生管理手法の周知と食中毒発生の減少との関連性の検証～職種による比較検討を通して～ 6. 学校給食における飽和脂肪酸量とトランス脂肪酸量 <実践報告> 1. コロナ禍における給食管理校外実習について（実践報告）	共 共 共 共 共 共 単	2016. 9 2019. 11 2019. 11 2020. 9 2021. 10 2022. 9 2022. 3	日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 日本給食経営管理学会学術総会講演要旨集 日本給食経営管理学会学術総会講演要旨集 日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 富山短期大学紀要第58巻

### 教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻・准教授	刀ガナ	オオモリ アキラ	
役職	教務部次長・地域連携センター長	氏名	大森 聡	
経歴	学歴			
	川崎医療福祉大学 医療技術学部臨床栄養学科 卒業 学士（臨床栄養学）			
	川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科 修了 修士（臨床栄養学）			
	職歴			
	学校法人 富山国際学園 富山短期大学	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻	助手	
学校法人 富山国際学園 富山短期大学	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻	助教		
学校法人 富山国際学園 富山短期大学	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻	講師		
学校法人 富山国際学園 富山短期大学	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻	准教授		
所属学会	日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本病態栄養学会、日本未病学会			
現在の社会活動	日本栄養改善学会 評議員 北陸支部幹事			
専門分野	応用栄養学、病態栄養学			
研究テーマ	食物の摂取と食後血糖上昇抑制			
職務上に関する資格・免許	管理栄養士、栄養士、エコクッキング指導者資格、日本栄養士会災害支援チームリーダー資格			
著書、論文等の名称（過去10年以内）		単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)	1. めざせ栄養士・管理栄養士！まずはここからナビゲーション	共著	2014.1	第一出版
	2. Nブックス給食の運営―栄養管理・経営管理―	共著	2017.9	建帛社
(学術論文)	1. Radiation dose rates now and in the future for residents ighboring restricted areas of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant	共著	2014.2	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America
	2. Little effect of supplementation with 0.6% energy trans fatty acids on serum cholesterol levels in adult Japanese women	共著	2015.1	Journal of Nutritional Science and Vitaminology
	3. 日本人成人女性におけるランス脂肪酸摂取量の現状	共著	2016.4	栄養学雑誌
	4. Effects of vitamin C and E on toxic action of alcohol on partial hepatectomy-induced liver regeneration in rats	共著	2018.7	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition
	5. 若年女性における呉羽梨摂取の時刻およびタイミング	単著	2020.3	富山短期大学紀要
	6. Differential Effect of Fat Intake on Blood Pressure in Healthy Japanese Women with and without the Variant of Fat Mass and Obesity-Associated Gene	共著	2022.9	Journal of Oleo Science
(その他)	<講演>			
	1. 健康寿命を延ばす食生活について	単	2021.11	富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター
	2. フレイル予防	単	2022.6	富山市健康づくり保健栄養教室
	3. 離乳食の状況・早産による修正月齢についての考え方	単	2022.6	南砺市保育士会 研究部会
	4. 健康寿命を延ばす食生活	単	2022.7	富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター
	5. 適切な身体活動と栄養摂取で健康寿命を伸ばす	単	2022.7	滑川福寿大学
	6. 講演を依頼されたら～講演内容の構成と資料作成テクニック～	単	2022.7	富山県栄養士会 生涯教育研修会
	7. 生活習慣病予防と食生活について	単	2022.12	富山県立いずみ高校 生活習慣病予防講座
	<学会発表>			
	1. 食パンとうどんにおける咀嚼回数の違いが食後血糖上昇へ与える影響	共著	2021.2	第16回日本栄養改善学会北陸支部学術総会
	2. 更年期女性の血糖管理―野菜の食べる順序と量を調整した1症例―	共著	2021.3	第40回食事療法学会
	3. 白飯の咀嚼回数の違いが食後血糖上昇に与える影響	共著	2022.1	第24回・25回日本病態栄養学会年次学術集会
	4. 白飯と昆布加工品の組み合わせが食後血糖上昇へ与える影響	共著	2022.3	第41回食事療法学会
	5. 白飯の咀嚼回数の違いが食後血糖上昇に与える影響 第2報	共著	2022.9	第68回日本栄養改善学会学術総
6. 野菜を摂取するタイミングが食後血糖上昇に与える影響	共著	2022.11	第29回日本未病学会学術総会	

### 教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・准教授	フリガナ	フジタ キョウスケ	
役職	副専攻科長	氏名	藤田 恭輔	
経歴	学歴			
	富山大学 薬学部 薬科学科 卒業 学士 (薬学)			
	富山大学大学院 医学薬学教育部 修士課程 薬科学専攻 修了 修士 (薬学)			
	富山大学大学院 医学薬学教育部 博士課程 生命薬科学専攻 修了 博士 (薬学)			
	職歴			
富山大学 和漢医薬学総合研究所 助教				
富山短期大学 食物栄養学科 講師				
富山短期大学 食物栄養学科 准教授				
富山短期大学 専攻科食物栄養専攻 副専攻科長				
所属学会	日本栄養改善学会、日本薬学会、日本生化学会、和漢医薬学会			
現在の社会活動	「富山やくぜん」認定委員会 委員 日本栄養改善学会 評議員			
専門分野	※富山短期大学 地域・高等学校等 出講プログラムと同じ内容			
研究テーマ	※富山短期大学 地域・高等学校等 出講プログラムと同じ内容			
職務上に関する資格・免許	薬剤師			
著書、論文等の名称 (過去10年以内)		単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(学術論文)	1. Dietary Hyodeoxycholic Acid Exerts Hypolipidemic Effects by Reducing Farnesoid X Receptor Antagonist Bile Acids in Mouse Enterohepatic Tissues.	共著	2014.10	Lipids 49巻 pp. 963-973
	2. Changes in liver lipidomics associated with sodium cholate - induced liver injury and its prevention by boiogito, a Japanese herbal medicine, in mice.	共著	2015.9	Trad. & Kampo Med. 3巻 pp. 9-19
	3. Ursodeoxycholic Acid Suppresses Lipogenesis in Mouse Liver: Possible Role of the Decrease in $\beta$ -Muricholic Acid, a Farnesoid X Receptor Antagonist.	共著	2017.4	Lipids 52巻 pp. 335-344
	4. Ameliorative effect of animal bile preparations on dextran sulfate sodium - induced colitis in mice.	共著	2018.10	Traditional & Kampo Medicine 5巻 pp.67-74
	5. Crosstalk between Na <sup>+</sup> , K <sup>+</sup> -ATPase and a volume-regulated anion channel in membrane microdomains of human cancer cellst.	共著	2018.11	Biochimica et Biophysica Acta (BBA)-Molecular Basis of Disease 1864巻 pp. 3792-3804
	6. Boiogito prevents dietary lithocholic acid (LCA) - induced cholestatic liver injury through the suppression of intestinal LCA absorption.	共著	2019.3	Traditional & Kampo Medicine 6巻 2号 pp.71-78
	7. エゴマ葉の胆汁酸吸着能の検証	単著	2020.3	富山短期大学紀要 56巻 pp. 119 - 122
	8. Hyodeoxycholic Acid (HDCA) Prevents Development of Dextran Sulfate Sodium (DSS)-Induced Colitis in Mice: Possible Role of Synergism between DSS and HDCA in Increasing Fecal Bile Acid Levels	共著	2022.1	Biological and Pharmaceutical Bulletin 45巻 10号 pp.1503-1509
	9. 短期大学生の薬膳に関するイメージ調査	単著	2023.3	富山短期大学紀要 59号 pp.12-18
(その他)	1. 和漢医薬学会奨励賞 受賞	単	2018.9	和漢医薬学会
	2. 廃用性筋萎縮に対する $\alpha$ -リノレン酸の予防・治療効果の解明 (科学研究費助成事業、基盤研究 (C) )	単	2023.4	日本学術振興会

教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・准教授	ワガナ	カワグチ マサフミ	
役職		氏名	川口 将史	
経歴	学歴			
	京都工芸繊維大学 繊維学部 応用生物学科 卒業 (学士)			
	京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 応用生物学専攻 博士前期課程 修了 (修士(農学))			
	大阪大学 大学院医学研究科 情報伝達医学専攻 博士後期課程 修了 (博士(医学))			
経歴	職歴			
	富山大学 学術研究部医学系 解剖学 助教 富山短期大学 食物栄養学科 准教授 (現在に至る)			
所属学会	日本動物学会、日本神経科学学会、日本解剖学会、日本発生生物学会、日本進化学会、日本栄養改善			
現在の社会活動	富山大学 医学部医学科 解剖学実習 臨時講師 富山県立大学 看護学部 形態機能学I, II 臨時講師			
専門分野	神経解剖学 行動生態学			
研究テーマ	魚類の求愛行動			
職務に関する資格・免許	死体解剖資格 (資格番号9760、令和2年12月、厚生労働省)			
著書、論文等の名称 (過去10年以内)		単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)				
(学術論文)	<p>1. Involvement of Slit-Robo signaling in the development of the posterior commissure and concomitant swimming behavior in <i>Xenopus laevis</i>.</p> <p>2. 統合型カリキュラムにおける能動的学修：解剖学実習を活用した展開</p> <p>3. An evolutionary hypothesis of binary opposition in functional incompatibility about habenular asymmetry in vertebrates.</p> <p>4. Expression patterns of Sema3A in developing amniote limb: With reference to the diversification of peripheral nerve innervation.</p> <p>5. Nervous system disruption and swimming abnormality in early-hatched pufferfish (<i>Takifugu niphobles</i>) larvae caused by pyrene is independent of aryl hydrocarbon receptors.</p> <p>6. 解剖学における授業内外の学修の組織化；反転授業の効果と課題</p> <p>7. Atlas of the telencephalon based on cytoarchitecture, neurochemical markers, and gene expressions in <i>Rhinogobius flumineus</i> (Mizuno, 1960).</p> <p>8. Afferent and efferent connections of the nucleus prethalamicus in the yellowfin goby <i>Acanthogobius flavimanus</i>.</p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p>	<p>平成27年8月</p> <p>平成28年12月</p> <p>平成29年1月</p> <p>平成29年5月</p> <p>平成29年11月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成31年1月</p> <p>令和3年1月</p>	<p>Zoological Letters 2015年1巻 pp. 28</p> <p>医学教育 47巻 pp. 343-351</p> <p>Frontiers in Neuroscience 10巻 pp. 595</p> <p>Development, Growth &amp; Differentiation 59巻 pp. 270-285</p> <p>Marine Pollution Bulletin 124巻 pp. 792-797</p> <p>Toyama Medical Journal 28巻 pp. 6-16 (第一著者)</p> <p>The Journal of Comparative Neurology 527巻 pp. 874-900 (第一著者)</p> <p>The Journal of Comparative Neurology 529巻 pp. 87-110</p>
(その他)	<p>1. Neural basis of of driving speciation among <i>Rhinogobius</i> species.</p> <p>2. ヨシノボリ属の種識別に伴う行動選択を制御する神経機構の解析</p>	<p>単著</p> <p>共著</p>	<p>平成29年12月</p> <p>令和元年3月</p>	<p>The 2nd Brain Institute Monash Sunway-University of Toyama International Symposium "Recent Updates on Neurobehavioral Studies" 国際シンポジウム 招待講演</p> <p>第124回 日本解剖学会総会 全国学術総会 シンポジウム「非モデル動物を用いた行動とそれを作り出す神経回路の探求」招待講演</p>

教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・准教授 専攻科食物栄養専攻・准教授		フガナ	イトウ ヨウコ
役職			氏名	伊藤 陽子
経歴	学歴			
	平成17年 3月 日本大学短期大学部専攻科食物栄養専攻 修了 (栄養学士)			
	平成29年 3月 大妻女子大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻修士課程 修了 (生活科学修士) 令和 2年 3月 大妻女子大学大学院人間文化研究科人間生活科学専攻博士後期課程 修了 (生活科学博士)			
経歴	職歴			
	令和 5年 4月 富山短期大学 准教授			
所属学会	日本臨床栄養代謝学会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 日本サルコペニア・フレイル学会 日本健康体力栄養学会 日本障害者歯科学会 日本栄養改善学会			
現在の社会活動	平成23年5月 日本臨床栄養代謝学会会員 平成23年7月 日本摂食嚥下リハビリテーション学会会員 平成26年8月 日本サルコペニア・フレイル学会会員 平成29年1月 日本健康体力栄養学会会員 平成31年2月 日本障害者歯科学会会員 令和 5年5月 日本栄養改善学会会員			
専門分野	臨床栄養学 高齢者			
研究テーマ	オーラルフレイル 摂食嚥下 歯科医師と管理栄養士・栄養士の協働			
職務上に関する資格・免許	栄養士 管理栄養士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本栄養士会災害支援チームリーダー資格			
著書、論文等の名称 (過去10年以内)			単著 共著	発行又は 発表の年月
(著書)	1. 『最新 臨床栄養学 第4版 栄養治療の基礎と実際』		共著	2021年7月 株式会社 光生館
(学術論文)	1. 地域在住高齢者の健康観に関する一考察 2. 歯科医師と栄養士との協働意識に対する実態調査		共著 共著	2018年12月 日本健康体力栄養学会誌 第22巻第1号 1-8頁 2019年6月 日本障害者歯科学会誌 第40巻第2号 200-208頁
(その他)	<発表> 1. 自立した地域在住高齢者の栄養評価と、健康および栄養に対する意識の関連性の検討 2. 高齢者への健康教育のための健康観の検討 3. 高齢者の健康観および低栄養予防に関する意識調査～前期高齢者と後期高齢者における比較検討～ 4. 歯科領域における栄養士・管理栄養士の協働実態に関する調査 5. 歯科医院外来受診患者における栄養関連ニーズ調査 6. 地域在住高齢者のSOC (首尾一貫感覚) と食意識・食行動・および栄養状態との関連性の検討 7. 人生の最終段階の食事や栄養の摂り方の意思表示に関する調査 <新聞掲載> 1. 3週連続 免疫力アップレシピ紹介		共著 単著 単著 共著 共著 共著 共著 単著	2014年3月 2017年3月 2017年3月 2019年2月 2019年9月 2023年3月 2023年3月 2020年5月15日, 22日, 29日
				第33回 食事療法学会 (長崎) 第36回 食事療法学会 (高知) 第24回 日本健康体力栄養学会大会 (東京) 第34回 日本静脈経腸栄養学会学術集会 (東京) 第25回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 (新潟) 第30回 日本健康体力栄養学会大会 (神戸) 第30回 日本健康体力栄養学会大会 (神戸) 山梨新報 第3128号～第3130号

教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻 講師	フリガナ	ツノダ カスミ	
役職		氏名	角田 香澄	
経歴	学歴			
	中京女子大学健康科学部栄養科学科 卒業 (学士：栄養科学)			
	中京女子大学大学院健康科学研究科 修了 (修士：健康科学)			
経歴	職歴			
	富山短期大学食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻 講師 (現在に至る)			
所属学会	日本栄養士会、日本食品衛生学会、日本公衆衛生学会、日本マイコトキシン学会			
現在の社会活動				
専門分野	衛生学			
研究テーマ	カビ毒、キノン化合物のミトコンドリア毒性 妊産婦の健康と栄養との関連性			
職務上に関する資格・免許	栄養士、管理栄養士			
著書、論文等の名称 (過去10年以内)		単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)	1. イラスト社会・環境と健康-公衆衛生学-	共著	2020.4	東京教学社
(学術論文)	1. Mitochondria toxicity of antihyperlipidemic agents bezafibrate and fenofibrate.	共著	2013.1	Diabetology International
	2. 食品保存剤パラベン (パラヒドロキシ安息香酸エステル) 類のミトコンドリア毒性	共著	2013.5	鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.17
	3. PCR-制限酵素断片長多型法を用いたウナギ加工食品の原料の魚種判定	共著	2013.5	鹿児島純心女子大学看護栄養学部紀要 Vol.17
	4. Mitochondria toxicity of blepharismine, a defense toxin produced by ciliated protozoan Blepharisma japonicum against predatory protists.	共著	2014.3	東海学院大学紀要 第7号
	5. Mitochondria toxicity of silver ion as the molecular mechanism for the antifungal activity	共著	2017.9	富山短期大学紀要 第53巻
	6. 野菜中の硝酸塩および亜硝酸塩含量への咀嚼の影響および口腔内細菌との関連 (研究ノート)	共著	2022.3	富山短期大学紀要 第58巻
	7. Dietary intake of vitamin D during pregnancy and the risk of postpartum depressive symptoms: the Japan Environment and Children's Study	共著	2023.2	Journal of Nutritional Science and Vitaminology
	8. Association of infants' feeding pattern up to 2 years postpartum with mothers' mental and physical health: the Japan Environment and Children's Study	共著	2023.2	Journal of Affective Disorders
(その他)	1. 短期大学生によるスイーツ開発における味覚に関する調査 (発表)	共著	2017.9	第64回日本栄養改善学会学術総会
	2. 野菜に含まれる硝酸塩および亜硝酸塩含量に及ぼす口腔内硝酸塩還元菌の影響 (発表)	共著	2019.1	第66回日本栄養改善学会学術総会
	3. でんぷん質食品中のブドウ球菌の増殖における具材および容器包装の影響 (発表)	共著	2021.9	第68回日本栄養改善学会学術総会
	4. 根菜類中の硝酸塩および亜硝酸塩含量への調理形態の影響 (発表)	共著	2022.9	第69回日本栄養改善学会学術総会



### 教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・講師	ツガナ	ナカネ カズエ	
役職		氏名	中根 一恵	
経歴	学歴			
	名古屋女子大学 家政学部食物栄養学科卒業 富山大学大学院人文科学研究科人文科学専攻修了 修士（文学）			
経歴	職歴			
	愛知県津島市立北小学校 臨時的任用学校栄養職員 中部大学応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻 助手 富山短期大学食物栄養学科 助教 富山短期大学食物栄養学科 講師			
所属学会	日本調理科学会、日本家政学会、日本栄養改善学会、日本スポーツ栄養学会、食文化研究部会			
現在の社会活動	富山県栄養士会 研究教育事業部 理事			
専門分野	調理科学			
研究テーマ	富山県の家庭料理			
職務上に関する資格・免許	管理栄養士 栄養士			
著書、論文等の名称（過去10年以内）		単著 共著	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
(著書)	特記事項なし			
(学術論文)	1) Differential Effect of Fat Intake on Blood Pressure in Healthy Japanese Women with and without the Variant of Fat Mass and Obesity-Associated Gene	共著	2022.9	Journal of Oleo Science
(その他)	(発表) 1) 栄養士養成課程学生の包丁技術力向上に向けた取り組み～自己評価と他者評価を通して～	共著	2020.3	第15回日本栄養改善学会北陸支部会学術総会
	2) 富山県の家庭料理 行事食の特徴ー感謝とおもてなしの気持ちを込めた食事	共著	2021.9	日本調理科学会2021年度大会
	3) 富山県の未利用魚を活用した料理の開発～富山短期大学・魚津漁業協同組合連携事業～	共著	2022.2	第17回日本栄養改善学会 北陸支部学術総会
	4) エゴマの搾りかすの添加がスポンジケーキの品質に及ぼす影響	共著	2022.9	第69回日本栄養改善学会学術総会
(公開講座)		共	2021.12	富山短期大学
1) クリスマスクッキング		単	2022.7	KNBラジオとれたてワイド朝生
2) 教えてティーチャー（ラジオ公開講座）		共	2022.7	富山短期大学
3) 食品ロスを考えよう Lets' サルベージパーティ				

教員紹介

学科・職名	食物栄養学科・講師		フガナ	ハンダ アヤミ
役職			氏名	半田 彩実
経歴	学歴			
	相模女子大学 学芸学部 食物学科 卒業 学士（食物学） 上越教育大学大学院 学校教育研究科 修士課程 修了 修士（教育学） 実践女子大学大学院 生活科学研究科 博士後期課程 修了 博士（食物栄養学）			
	職歴			
		青山学院女子短期大学 助教 富山短期大学 食物栄養学科		
所属学会	日本家庭科教育学会、日本家政学会、日本食品衛生学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会			
現在の社会活動	日本家庭科教育学会 会員 日本家政学会 会員 日本食品衛生学会 会員 日本調理科学会 会員 日本栄養改善学会 会員			
専門分野	食生活学 調理学			
研究テーマ	食品中の不揮発性アミン類			
職務上に関する資格・免許	栄養士、中学校教諭専修免許状（家庭）、高等学校教諭専修免許状（家庭）			
著書、論文等の名称（過去10年以内）			単著 共著	発行又は 発表の年月
			発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	
(著書)	特になし			
(学術論文)	1. 中学生時代の食事状況が生活充実感に及ぼす影響—日本と中国山東省の大学生の比較を通して—	共著	2014.9	日本食生活学会誌
	2. 高等学校家庭総合における短歌を教材とした行事食に関する授業の有効性（教育実践のひろば）	単著	2015.5	日本家庭科教育学会誌
	3. 家庭科教育法における「模擬授業再現・完成レポート」の有効性	共著	2016.3	相模女子大学紀要
	4. ダンシル誘導体化反応の改良による食品中の不揮発性アミン類分析法（研究ノート）	共著	2017.6	食品衛生学雑誌
	5. 市販漬物中の不揮発性アミン類含有量とそれらの含有由来	共著	2018.2	食品衛生学雑誌
	6. 調理実習で発生した食中毒の傾向	単著	2019.12	青山学院女子短期大学紀要
	7. ぬか漬中のヒスタミンおよびチラミンの生成に関わる要因	共著	2020.2	食品衛生学雑誌
	8. 青菜のゆで方に関する知識向上を目指した授業の検討（研究ノート）	単著	2021.3	子ども教育学会紀要
(その他)	1. 中国人留学生による民族衣装を題材にした家庭科教育と国際理解教育を関連づけた授業実践（発表）	共	2013.7	日本国際理解教育学会
	2. 農産物漬物類における不揮発性腐敗アミン類含有量調査（発表）	共	2016.10	日本食品衛生学会
	3. ぬか漬中のヒスタミンおよびチラミン産生に関わる細菌と保存温度の検討（発表）	共	2019.5	日本食生活学会
	4. 主食（コメ・ムギ・イモなど）の食文化（出張授業）	単	2021.2	富山県立雄山高等学校
	5. 調理と環境（出張授業）	単	2022.6	富山県立雄峰高等学校
	6. 料理の楽しい基礎知識（出張授業）	単	2022.8	富山県富山市
	7. 食品ロス削減に向けて日常生活からできること（ラジオ公開講座）	単	2022.8	KNBラジオとれたてワイド朝生
	8. 国産ナス中に含まれる原産地別によるヒスタミンの相違（発表）	共	2022.9	日本栄養改善学会
	9. 国産ナスに含まれるヒスタミンの品種別の相違と米ナスによる部位別の調査（発表）	共	2022.9	日本栄養改善学会
	10. おやつ作り（公開講座）	単	2023.2	富山短期大学